

2018年度地域包括ケア全国実践研究集会

地域共生社会の実現に求められる地域包括ケアの推進と「相談支援」機関

地域共生社会の実現に求められる地域包括ケアの推進には、制度の縦割りを乗り越え、多様なシステムをつなぎ合わせていくことが重要です。相談支援機関のソーシャルワーカーがさまざまな地域生活課題を抱えた「人」と出会ったとき、制度ありきの発想を乗り越え、その人と課題をしっかりと捉えて伴走していくことが大切になります。

制度の狭間にいる多様な課題を抱えた人の支援の展開には、①いかに早期に発見するか、②いかに信頼関係を形成するか、③いかに多面的にアセスメントを行うか、④いかに個別の支援と支援ネットワーク構築を同時に展開し、社会資源の再資源化や新たな開発を行うか、⑤これらを通じて、いかに仕組み作りをしていくか、といったことが求められます。

そこで、本会では、地域共生社会に実現に求められる地域包括ケアの推進と「相談支援」機関をテーマとして「地域包括ケア全国研究集会」を開催します。

1. 開催日：2018年9月29日（土） 10：30～17：00
2. 会場：上智大学 四谷キャンパス 6号館2階205号室（〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1）
3. プログラム（予定）：

時 間	内 容
10：30～10：40	オリエンテーション、開会挨拶
10：40～12：00 基調講演（80分）	【テーマ】地域共生社会の実現に求められる地域包括ケアの推進と「相談支援」機関のあり方 【講師】原田 正樹 氏（日本福祉大学 教授）
12：00～13：00	昼食休憩（60分）
13：00～16：50 シンポジウム （230分） ※休憩含む	【テーマ】「制度に位置づけられた相談支援機関が「丸ごと」の機能を果たすために（仮称）」 【コーディネーター】島村 聡氏（沖縄大学 准教授） 【コメンテーター】原田 正樹氏（日本福祉大学 教授） 【シンポジスト】 ①高齢分野：中恵美氏（金沢市地域包括支援センターとびうめ／石川） ②障害分野：藤川雄一氏（鶴ヶ島生活サポートセンター／埼玉） ③児童分野：佐藤義謙氏（まぎぬ児童家庭支援センター／神奈川） ④生活困窮分野：安藤千晶氏（静岡市暮らし・しごと相談支援センター／静岡）
16：50～17：00	閉会挨拶
17：30～19：30	懇親会（希望者のみ）

4. 参加対象：「丸ごと」の相談支援を目指す関係機関（地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、児童相談所、自立相談支援機関、社会福祉協議会、行政、サービス提供事業所、その他関係機関等）の関係者
5. 定 員：180名（先着順）（FAXの場合は必着、郵便の場合は消印有効）
6. 参加費：都道府県社会福祉士会の会員 10,000円、会員以外 13,000円（資料代を含む）
7. 懇親会：参加費 4,000円（参加希望者のみ、事前申込制）
8. 申込方法：所定の申込書にて eメール、FAX 又は 郵便 によりお申し込みください（電話申込不可）
なお、eメールで申込みの場合、件名は研修名を入力ください。
また、3営業日以内に生涯研修センターより申込書受領にかかるメールを返信します。
返信が届かない場合は、通信障害も考えられますので、生涯研修センターにお問い合わせください。
9. 申込締切：7月13日（金）まで（先着順）とし、参加の可否を7月下旬に書面にて通知します。
また、会場案内、参加費の納入方法、キャンセルの扱い等についても合わせてご案内します。
10. 研修単位：本研修は、生涯研修制度独自の研修・実績（①社会福祉士会が行う研修で認定社会福祉士制度の認証を受けていない研修）の5時間となります。
11. 主 催：公益社団法人日本社会福祉士会（所管：地域包括ケア推進委員会）
12. 後 援：社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国地域包括・在宅介護支援センター協議会
（予定）一般社団法人日本介護支援専門員協会、一般社団法人日本ケアマネジメント学会
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟、特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会、
社会福祉法人東京都社会福祉協議会
13. 問い合わせ先：（公社）日本社会福祉士会 生涯研修センター 北村毅、赤沼
TEL：03-3355-6541 FAX：03-3355-6543 e-mail：kenshu-center@jacsw.or.jp